

## 発寒ひかり 保育園だより

2023年  
7月号

### 巻頭言

Rくん(5歳児)は食事の席が隣りのrくん(2歳児)に「rくんこれたべたらぴっかりん(完食)だよ」と、いつも優しく声をかけています。Rくんは新幹線のお弁当箱を使っていました。ある日から違うお弁当箱を持ってくるようになりました。Rくんのお母さんに聞くと「rくんがごはんにしゅうちゅうできないからちがうのにしたい」とお家で話していたことを教えてくれました。思い返すと、電車が大好きなrくんは以前、Rくんのお弁当箱で遊び、食事が進まないことがありました。Rくと話す中で、「お弁当箱を取られるのが嫌」ではなく、「rくんが完食できるように」と考えていたことがわかりました。去年は年下の子に関わりたけれど、口調や力の調節がうまくできず泣かせてしまうこともあったRくんが、声のかけ方だけでなく、rくんを思って行動していることに成長を感じました。

何を聞いても「しない!」と言うrくんに、Rくんだけでなく他の子も「これならどう?」「じゃあこっちは?」と次々にアイデアを出して声をかけています。rくんが完食したり、片付けができた時には「rくんできたよ!」とファミリー全体で喜びを共有しています。当園では「みんなきょうだい大きな家族」をテーマに0〜5歳の異年齢保育を行っています。その中で見られる子どもたちの関わりを見ると、心が温かくなります。

2歳児は自我が芽生え、イヤイヤ期(当園では「独立宣言期」といわれる年齢ですが、好奇心に溢れている大切な時期でもあります。自分で考え行動する気持ちに寄り添い、生き生きと積極的に過ごせるよう、そして安心して自我を表現できるように見守ってこうと思います。

れもんファミリー・ばんび組担任 田口るり子